

AppleWatch を活用して市民の健康管理

iPhone、iPad、Apple Watch を使用した革新的な遠隔ヘルスケアシステムを
全国の自治体で初めて導入します！

わが国は超高齢化社会を迎え、保健医療分野の改革が急務となっています。健康リスクの早期発見や、予防・健康管理の重要性はますます高まっています。

岐阜県関市では、平成 29 年度から、市が実施する特定健診とヤング健診において、保健指導が必要となった方を対象に、iPhone を使用した遠隔ヘルスケア（健康管理）システムを、全国の自治体で初めて実証的に導入します。

これまでの保健指導は、健康データを対象者ご自身が、自分で準備した測定機器（体重計や血圧計など）で毎日測定し、そのデータをノートに記入して記録しなければならず、保健指導の実施率、継続率が低いことは大きな課題となっていました。

今回導入するシステムは、Apple 社が 2016 年 3 月に発表した「CareKit」を用いてつくられたアプリケーション「The Diary」を使用したもので、対象者は、iPhone や Apple Watch を携帯しているだけで、または対応した測定機器で毎日測定するだけで、歩数や脈拍、体重、血圧などの日々の健康データを自動的にご自身の iPhone 上に記録することができます。また、このデータを保健センターの保健師が共有し、iPad 上で確認することができます。保健師は、対象者の来所や連絡を待つ必要がなく、市民の健康データをリアルタイムに共有することができるので、必要に応じて保健センターから連絡することができるようになります。



本サービスの実施にあたり、すでに iPhone を所有されており、本サービスを利用しての保健指導を希望する方を対象（最大 20 人）に **関市から AppleWatch を貸与**（3～6 カ月間）します。Apple Watch を使用して、日々の健康データを簡単に記録することで、保健指導の実施率や継続率が向上するだけでなく、対象者本人が自身の生涯にわたる健康・医療情報を経年的に把握できる仕組みの構築を目指します。

市民一人ひとりが、身近なデバイスを活用して、専門家のサポートを受けながら自分の健康や身体について知ることができる。そして、自身の健康に対する意識や関心を高めていくことこそ、この事業の大きなねらいであります。

なお、この事業は 7 月下旬ごろを目途に開始を予定しており、詳細は事前に市広報などで周知いたします。

本事業実施に際し、オムロンヘルスケア(株)様のご協力を得て、体重体組成計【HBF-255T】、血圧計【HEM-7325T】をご提供いただく予定です。

※担当：関市保健センター 0575(24)0111
秘書広報課経営戦略室 0575(23)7710